

令和7年7月29日

鉄道局都市鉄道政策課

三大都市圏の平均混雑率が増加

～都市鉄道の混雑率調査結果を公表（令和6年度実績）～

令和6年度の三大都市圏における平均混雑率^注は、東京圏：139%、大阪圏：116%、名古屋圏：126%となり、東京圏は3ポイント、大阪圏は1ポイント、名古屋圏は3ポイントの増加となりました。

本調査は、通勤通学時間帯における鉄道の混雑状況を把握するため、毎年度実施しているものです。

【三大都市圏主要区間の平均混雑率（令和6年度実績）】※カッコ内は昨年度調査の混雑率

東京圏	大阪圏	名古屋圏
139% (136%)	116% (115%)	126% (123%)

（注）混雑率：最混雑時間帯1時間の平均（主に令和6年10月～11月の1日又は複数日の乗車人員データを基に計算したもの）

〈添付資料〉

- ・資料1：三大都市圏の主要区間の平均混雑率の推移（2024）
- ・資料2：三大都市圏の主要区間の混雑率（2024）
- ・資料3：都市部の路線における最混雑区間の混雑率（2024）

なお、主な鉄道事業者の混雑状況等については、各鉄道事業者のウェブサイトにおいて紹介しております。

連絡先：鉄道局都市鉄道政策課 坂瀬、尾崎
代表：03-5253-8111（内線：40452、40454）
直通：03-5253-8535 FAX：03-5253-1635